

平成 25 年 10 月 31 日

各 位

会社名：川崎汽船株式会社
代表者名：代表取締役社長執行役員 朝倉 次郎
(コード番号 9107 東証第一部)
問合せ先：経営企画グループ長 室崎 正浩
(Tel 03-3595-5594)

平成 26 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想との差異
及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 25 年 7 月 31 日に公表した平成 26 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想と比較して、本日公表の決算において差異が生じたのでお知らせするとともに、最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 3 月期の通期連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 平成 26 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想との差異

(1) 差異の内容

	第2四半期累計期間				
	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結四半期純利益	1株当たり連結四半期純利益
前回発表予想 (A) (平成 25 年 7 月 31 日公表)	百万円 610,000	百万円 13,000	百万円 15,000	百万円 7,500	円 銭 8.00
実績値 (B)	606,550	19,763	20,023	14,736	15.71
増減額 (B-A)	△ 3,450	6,763	5,023	7,236	7.71
増減率 (%)	△ 0.6%	52.0%	33.5%	96.5%	96.4%
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 25 年 3 月期第 2 四半期)	546,213	12,148	9,075	△ 1,124	△ 1.34

(2) 差異の理由

コンテナ船事業は、荷動きは力強さを欠き市況軟化の兆しが見られたものの、ドライバルク事業は中国向け荷動きの伸びを背景に市況が回復、自動車船事業は順調に稼動いたしました。

収益改善・コスト削減の取り組みは順調に進捗しており、第 2 四半期累計期間の業績は前回発表予想を上回る結果となりました。

なお、連結四半期純利益の改善につきましては、連結経常利益の改善に加え、不動産等の資産売却により特別利益が増加したこと、及び老齢船処分等にかかる特別損失を下期に先送りしたことによるものです。

2. 平成 26 年 3 月期通期の連結業績予想の修正

(1) 修正の内容

	通期				
	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 25 年 7 月 31 日公表)	百万円 1,180,000	百万円 28,000	百万円 27,000	百万円 14,500	円 銭 15.46
今回修正予想 (B)	1,180,000	28,000	27,000	16,000	17.06
増減額 (B-A)	0	0	0	1,500	1.60
増減率 (%)	0.0%	0.0%	0.0%	10.3%	10.3%
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 3 月期)	1,134,771	14,886	28,589	10,669	12.07

(2) 修正の理由

今回、最近の事業環境を踏まえ業績の見直しを行いました。

ドライバルク事業で市況回復に伴う収支改善が見込まれる一方で、コンテナ船事業では新造大型船の竣工が続くなか、欧州経済は依然不透明感もあり、運賃が想定を下回り下期の業績の悪化が予想されます。収益改善・コスト削減の取り組みを更に推し進め、通期での連結営業利益、連結経常利益は前回発表数値を確保する見込みとなり、連結当期純利益につきましては上記のとおり前回発表数値を上回る利益を予想しています。

以上

注) 本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて算定したものであり、実際の業績は今後の事業環境等、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。